

西町 平成30年度目標の評価

① 利用者と1対1の関わりの充実を図る。

- ・口腔ケアは毎食後できていると思う。食べられる前にスポンジブラシで刺激することにより、食べるという意識を持てるのではと思う。
- ・機能訓練については、排泄介助の時間を利用して可動域訓練などを行うべきだったが、徹底できなかった。だが、特浴入浴時に行う時もあった。他のユニットの職員とも声をかけ合って、特浴入浴時の訓練も意識して行えたらいいと思う。
- ・顔は目に付くので、気づいた時に拭くようにしているが、爪切りはチェック表を作っていたが十分できていなかった。入浴がなく洗濯物が少ない日の遅出などで対応できたらと思う（以前はやっていた）。
- ・保清、環境整備は十分できていなかった。
- ・離床時間はNsの許可を得ながら、すすめることができている。

② 家族との信頼関係を深め、協力を得ながら、それぞれの利用者の希望、思いをできるかぎり叶えられるように努める。

- ・ふるさと訪問、実施できたのは限られた方のみであったが、とても喜んで頂けた。自宅に帰れない方については、静養室での食事会という形を取るなどして対応し、喜んで頂けたと思う。自宅外出された時の写真を西町新聞に載せたりして、もっと家族へのアピールができたらと思う。また、外出ができない方への寄り添い方をもっと考えたい。
- ・家族の面会時の声かけは積極的に行い、情報の収集にも努めている。Nsにも協力して頂き、状態の報告にも努めている。書類の確認、持ち物の依頼などを忘れないように、スタッフ間での伝達に努めたい。
- ・食事前の時間に面会に来られた家族にはおしぼりを手渡し、顔を拭いて頂くよう努めている。そういう時に家族の思いが聞けることがあった。

③ 職員一人一人のスキルアップを図り、苑全体で協力をしながら看取りケアの充実を図る。

- ・ミーティングの時間はなかなか取れないが、業務中でも気づいたことがあれば意見を出し合うことができている。
- ・看取りについては他の町の入所者が静養室に入られた際にも、訪室や本人、家族への声かけに努めているが、書類や衣服についてなど十分情報が伝わっていないこともあったので事前の確認を徹底したい。
- ・グリーフケアのはがきに返事を下さった家族がおられ、気持ちが伝わっていたことがわかり、嬉しかった。
- ・最期の場面に立ち合った職員に対するケアがうまくできていない。一緒に思い出話をしたり、写真を見たりして、振り返りの時間を持つことも必要だと感じた。